

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的に応じて、必要な情報を見付けることができている。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

【算 数（数学）】

- 整数や小数についての計算力が身に付いている。
- 示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができている。
- 体積の意味理解について課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 学校のきまりを守って生活する力が身に付いている。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
- 自分のよいところやできていること等、自分を肯定的に捉えようとする意識に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・働き方改革による教材研究の時間の確保
- ・合同授業・交換授業・専科授業の充実
- ・個別指導の充実（給食前・小人数等）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・表現や交流活動をメインにした授業づくり
- ・AI ドリル等 ICT 機器を利用した学習の充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・異学年で行うミーティングタイムの充実
- ・地域の「ひと・もの・こと」を活用したキャリア教育の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学びたいことを自分で選び、調べまとめる全校探究学習の実施
- ・通信や集会等を用いた家庭との連携・協力体制の強化（赤ペン先生・スキルアップタイム）